

平成28年度決算概要

(1) 平成28年度決算のポイント

ア 前年度並みの実質収支を確保

一般会計の実質収支は、前年度並みの48億2,700万円となった。
なお、決算規模は歳入・歳出とも過去最大。

歳出総額	3,985億6,300万円 (対前年度3.6%増)
歳入総額	4,039億1,300万円 (対前年度2.9%増)

イ 将来負担の着実な低減

第2期財政健全化プラン(H26~29)の主要目標として掲げた「主要債務総額の削減」は、平成29年度末までに、対平成24年度比で1,000億円の削減目標に対し、平成28年度末時点で996億円の削減。

また、全会計の市債残高は、対前年度比120億円の削減となり、6年連続で対前年度比100億円以上の削減。

<主要債務総額について>

本市の財政運営や財政健全化に向けて大きな影響を与える以下4項目の合計額

- ・建設事業債等残高(普通会計)
- ・債務負担行為支出予定額(普通会計・建設事業分)
- ・基金借入金残高
- ・国民健康保険事業累積赤字額

(2) 健全化判断比率等

ア 健全化判断比率

実質公債費比率及び将来負担比率については、いずれも前年度より改善。

実質公債費比率	17.3% (対前年度△0.7P、早期健全化基準25.0%)
将来負担比率	186.2% (対前年度△22.5P、早期健全化基準400.0%)

イ 資金不足比率

病院事業において、厳しい経営状況に伴い資金不足が生じたことから、資金不足比率は、0.1%となった。